

親切運動の取組について

南砺市立福光中学校
生徒数 173名

1 親切運動の取組の紹介

(1) 花苗植え

環境ボランティア委員会が中心となり、花と緑の銀行南砺支店からいただいた花苗を花壇に植える活動を行った。各教室で活動に協力してくれるボランティアを募ったところ、多くの生徒が積極的に参加した。委員会で水やり当番を決め、花苗の育成・管理に取り組むことができた。



(2) 共同募金運動

環境ボランティア委員会が中心となり、赤い羽根共同募金運動や心のもも運動を行った。校内放送や各教室での呼びかけで、募金活動の意義や集まったお金がどのように使われるかを伝え、自分達にもできる支援があることを発信した。「自分のお小遣いでできることがあるなら協力しようと思った。」と言って寄付する生徒もおり、目的を理解して寄付する姿が見られた。



(3) 挨拶運動

生活委員会が中心となり、生徒玄関前で定期的に挨拶運動を行った。一人一人に声をかけることで、進んで挨拶をすることの大切さや、笑顔で挨拶を交わし合うことのよさに気付ける機会となっている。10月には近隣の小学校と合同で挨拶運動を行い、小学生の元気な挨拶に刺激を受けながら、気持ちのよい挨拶を交わし合うことができた。



(4) 資源回収

家庭からはアルミ缶を、学校では牛乳パックを回収している。アルミ缶は毎月最後の水木金に回収し、学習発表会でも集めた。牛乳パックは、各教室で給食後に洗って乾かして環境ボランティア委員がまとめたものを、学期ごとに業者に渡すことでリサイクルにつなげている。



(5) デイサービスセンター訪問

3学年総合的な学習の時間で、「多くの人が健康で長生きするために私たちにできることは何か」をテーマに、高齢者でも楽しく取り組めるレクリエーションやリハビリグッズを生徒達が考えて、デイサービスセンターで紹介・実践を行った。交流を通して、健康で長く生きるためには人と関わることや体や頭を使うことが大切だと学んだ。



2 親切運動に取り組んで

(1) 取組の成果

生徒が主体的に取り組んだ活動が多く、リーダーを務める生徒が目的意識をもって活動を企画・運営したことが、他の生徒の活動意欲の向上にもつながっている。自分の行動が誰かのためになると気付いて行動に移した生徒も多く見られ、生徒のボランティア意欲の向上を実感した。

(2) 課題と今後に向けて

今年度は熊出没の影響により、例年行っていた地域清掃ができなかった。事前に決まっている活動が多いため、一部の活動では作業的になっている部分がある。生徒の思いを尊重しつつも活動は精査しなければならない。